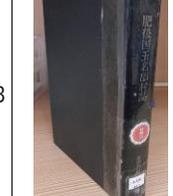


荒尾を知ろう！（郷土資料 基礎編）おすすめ本リスト

風土、環境、地名、文化、歴史、方言、先人・先哲など郷土・荒尾市をざっくり知ることができる「基礎編」の資料たちです。

荒尾市立図書館ブックリスト No.2
「郷土資料 基礎編」 2023.5月

No	
1	 <p>荒尾市史（環境・民俗編） 地形、環境、山、海、生物など荒尾の気候・風土を解説する「環境編」としきたりや方言、祭り等をまとめた「民俗編」からなる一冊。有明海の生き物、干潟、動植物一覧、年中行事、社宅の文化など荒尾ならではの資料を収録した市史第一弾。 ①荒尾市史編集委員会②荒尾市③A219 アラ④2000⑤10050793</p>
2	 <p>荒尾市史（絵図・地図編） 永青文庫、熊本県立美術館所蔵の古地図を中心に荒尾の絵地図を編年順に掲載。近世の絵図、地租改正総図、村図、炭鉱図、さらに伊能図や「寛政の大津波」の災害絵図も収録。国境総論絵図は県境（藩境）に位置した荒尾ならではの地図資料です。 ①荒尾市史編集委員会②荒尾市③A219 アラ④2001⑤10052309</p>
3	 <p>荒尾の文化遺産 荒尾市史別編 荒尾市域に遺る文化遺産をまとめる市史別編。古小代焼、賀庭寺古塔群、狛犬、山の神、孝子碑、仏像、宮崎兄弟の生家、岩本橋、府本御茶屋跡、孫文記念館（解体前）、古文書、四山古墳、武装石人、製鉄跡、城跡などがカラー図版と解説で紹介されています。 ①荒尾市史編集委員会②荒尾市③A219 アラ④2003⑤30003798</p>
4	 <p>荒尾市史 前近代資料集 考古、中世、近世史料で構成された荒尾市史。市内出土の須恵器や土器実測図、野原荘入部前の小代氏一族関連資料、古塔の金石文、荒尾手永の手鑑（石高、年貢高、人口、諸役人名等が記載されている）を掲載。小岱山の筒ヶ嶽城の詳細な測量は貴重。 ①荒尾市史編集委員会②荒尾市③A219.4 アラ④2008⑤10059702</p>
5	 <p>荒尾市史（通史編） 荒尾市政70周年を機にまとめられた荒尾の歴史本。貝塚や製鉄遺構、古墳、石人などの古代遺跡から野原荘、中世の城跡、小代氏、藩境の歴史、宮崎兄弟、海達公子、万田坑、荒尾二造など荒尾を知るには欠かせない資料です。 ①荒尾市史編集委員会②荒尾市③A219.4 アラ④A2012⑤30004221</p>

No	
11	 <p>わたしたちの荒尾市 1980年に初版が発行され改訂を重ねる子ども向けの郷土本。荒尾市の年表がダイジェストにまとめられていて大人にもわかりやすく便利。また、荒尾梨の歴史や作り方、小中学校の開校～閉校の変遷をこの本で調べることができます。 ①荒尾市教育委員会②荒尾市教育委員会③A219 アラ④1994⑤10084543</p>
12	 <p>荒尾市小字 地名一覧表 荒尾市の小字地名一覧表。「下矢櫃」「大福毛」「馬無疵」「吉丸屋敷」など初めて耳にするような荒尾市ならではの小字（地名）と読み方が掲載されています。※貸出不可。館内閲覧のみ ①荒尾市税務課資料複写②-③A219 アラ④1981⑤10526933</p>
13	 <p>肥後国玉名郡村誌 明治初年全国で作成された郡村誌の一つで熊本県が調査編集した「玉名郡村誌」を昭和33年に田辺哲夫氏が再編集した本。荒尾市はP369より始まり、荒尾市発足前の玉名郡「大嶋町」「荒尾村」「宮内村」等各地の税地、字地、貢租、戸数などが著されています。 ①田辺 哲夫②玉名民報社③A219 タマ④1958⑤10060911</p>
14	 <p>ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 荒尾 全国各都市で編まれる写真集シリーズの荒尾版。万田坑、宮崎兄弟、町役場、海水浴場、映画館、蟻原橋、鉱業学校校舎、万田坑の全景など今は見ることができない珍しい写真が掲載されています。編集者の麦田静雄氏がまとめた巻末の荒尾の歴史と、詳細で簡潔な写真の解説文が秀逸な郷土資料です。 ①麦田 静雄②国書刊行会③A219 ムキ④1980⑤10519492</p>
15	 <p>荒尾の石造物 近くに建つ古そうな石塔や石碑、狛犬、鳥居…これはいつからあるの？刻まれた模様や文字はどんな意味？そんな疑問に答えてくれるふるさとの石造物の調査本。約900にのぼる点数を調査し写真や図版、地図で解説しています。 ①荒尾市教育委員会・肥後金石研究会②荒尾市教育委員会③A387 ヒコ④1994⑤10521233</p>

No	
6	 <p>郷土荒尾 明治22年～昭和40年の荒尾の歴史がまとめられています。「大正1年万田駅ができた」などまちの移り変わりや昭和30年代の魚類漁獲高、農産物、荒尾の交通（電車・駅）の変遷、市内企業一覧など少し昔の興味深いデータを掲載。 ①荒尾市郷土資料作成委員会②荒尾市教育委員会③A219 アラ ④1966⑤10519401</p>
7	 <p>郷土荒尾（歴史編） 児童の社会認識を育てるための社会科学習として編まれた資料の歴史編で『郷土荒尾』の続編。35頁とコンパクトながら江戸時代までの荒尾の歴史を紹介。寛永11年の市内各地区の郷高や野原荘、小代氏、石炭、白灰づくりの歴史などを調べることができます。※貸出不可。館内閲覧のみ ①荒尾市郷土資料作成委員会②荒尾市教育委員会③A219 アラ ④1967⑤10521359</p>
8	 <p>荒尾近代史 明治100年記念事業として発刊。昭和17年度から30年度までの市の決算の変遷、大正・昭和前期の人口、明治の寺子屋一覧、天保からの寺社一覧、巻末には荒尾百年のあゆみとして明治元年～昭和43年の年表などを掲載。 ①荒尾市郷土資料作成委員会②荒尾市教育委員会③A219 アラ ④1969⑤10519403</p>
9	 <p>荒尾市の文化財（I） 荒尾市文化財調査報告第6集 東部地区（大字孤屋・野原・川登・金山・禪・府本・平山・上平山） 東部地区の文化財を収録。トキワマンサク、唐渡岩、石炭など自然環境の他、製鉄遺跡、八つどん、風流笠切りなど荒尾に残る民俗・文化財を掲載。付録の「荒尾市字界限図」「東部地区文化財分布図」は昔からのこの地名が地図に落とされておりわかりやすい。 ①荒尾市教育委員会②荒尾市教育委員会③A219.4 アラ ④1982⑤10057797</p>
10	 <p>市政五十周年記念 あらお 市政50周年を記念して作成された資料で、やや古いながらも初めて荒尾を学ぶ方にはおすすめ。市章、市民憲章、市の花、市の木や遺跡、文化人、歴代市長などが写真や図版でまとめられ、子どもにも見やすい本です。巻末には荒尾の歩み（年表）が掲載されていて地域を知る学習にも適しています。 ①熊本日日新聞情報文化センター②荒尾市③A219.4 クマ ④1992⑤10057706</p>

①著者②出版社③分類記号④出版年⑤資料番号

No	
16	 <p>宮崎滔天（みやざきとうてん）全集（1～5巻） 明治初年、開国したばかりの日本の命運を同じく露・欧州から圧力を受けるアジアの国々との連携によって切り開こうとした近代日本の社会運動家のひとり、宮崎滔天の思想を辿れる資料。辛亥革命を成功させた孫文をはじめ理想の国づくりに命をかけて取り組んだ宮崎家の人々の姿も描かれています。 ①宮崎 竜介 他②平凡社③A289.1 ミヤ④1971⑤30004164 他</p>
17	 <p>荒尾ナシ山物語 復員後約30年荒尾ナシを作り育ててきた著者による特産品・荒尾梨についての本。生活記録でありながら、なぜこの地で荒尾梨の栽培が始まったのか、誰が始めたのか、県を代表する特産品になるまでの様々な事柄がわかる貴重な実録です。※貸出不可。館内閲覧のみ ①岡村 じゅん②-③A625 オカ④2009⑤10527030</p>
18	 <p>少女詩人 海達公子（かいたつきみこ）の発掘 北原白秋に激賞された荒尾の詩人「海達公子」を知ることができる1冊。著者が荒尾市の小学校勤務をきっかけに、S54年に市立図書館が蔵した赤い鳥復刻版や本人日記、田辺哲夫氏の資料、地元の人々の証言などを元に公子がのこした児童自由詩についての実証的考察を行っています。詳しい年譜も。 ①規工川 佑輔②-③A910.2 キク④1993⑤10519330</p>
19	 <p>三池炭鉱遺産 万田坑と宮原坑 日本の近代化に貢献した石炭。その資源を持つ荒尾市は大牟田市とともに炭鉱都市としてその名を全国に知られていました。現在は廃坑となった「万田坑」と隣の太牟田市の「宮原坑」の写真を軸に採炭の為の道具や建物、人々の暮らしなどその歴史遺産がわかりやすく紹介されています。 ①高木 尚雄②弦書房③A567 タカ④2010⑤10064234</p>
20	 <p>小代焼 第二十五回熊本の美術展 1600年頃より創られる国の伝統的工芸品「小代焼」を紹介する1冊。小岱山の可塑性に優れた小代粘土を陶土にし、天然の木灰や藁灰の釉薬が流しかけられた美しい意匠は柳宗悦にも評価されました。貴重な古小代の写真を中心に、小代焼関連の文書史料も掲載されています。 ※貸出不可。館内閲覧のみ。 ①熊本県立美術館②-③A751.1 クマ④2005⑤10527052</p>

荒尾市立図書館